



Q & A

今回の『微笑み』第9号では、新しい試みとして
先生方に高校・高専時代を振り返ってもらい、
Q&A形式の記事を掲載しました。
皆さんのよきアドバイスになることと思います。
質問の内容は次の4項目です。

Q1 高校・高専時代は、どこに住んでいましたか？

Q2 高校・高専時代に悩んだことは
どんなことでしたか？

Q3 どのようにして悩みを解決されましたか？

Q4 学生への伝言をお願いします。



山崎 英司 学科：一般教育科／勤続年数：2年目

A1 広島県東広島市西条町に住んでいました。「賀茂鶴」などのお酒の生産で有名な町です。広島大学のお膝元にあります。

A2 高校からの編入生だったので周りの友達と打ち解けるまで苦労しました。なかでも友達とくらべて小遣いが少なかったため、一緒に街に遊びに行ったりできなかつたのが厳しかったです。結果自分に自信が持てず、なかなかクラスの女の子に話しかけたりできませんでした。

A3 大学時代に寮生活や趣味のツーリングでいろんな所を旅して様々な経験をしました。経験から自分に精神的な余裕が生まれてくると友達や異性とも肩肘張らない自然な付き合いができるようになりました。

A4 現在は情報のあふれた便利な時代ですが、果たして本当に余裕のある生活を送っている若者は多いのでしょうか。メディアに踊らされて「周りの人は・・・だから自分も」と考えてませんか？君たちは今自分が自由に使える「青春」という名の時間を手にしています。それは大人がどんなにお金を出しても買うことのできない貴重なものです。若いときはお金よりも時間を使うレジマー（スポーツ・読書・旅行など）を楽しみましょう。その中で培った経験は君たちをとても魅力的な人間へと変えていくはずです。ただ若いうちから自分を成長させるもの、自分の世界をひろげるもの、（資格取得や友達との旅行など）に積極的に投資するのはよいことだと思います。


永田 和美 学科：物質工学科／勤続年数：3ヶ月強？

- (A1)** 福岡県大牟田市久福木（出身中学校：田隈）から有明高専に通っていました。金山線を通って原付で元気に通学していました。
- (A2)** 私の頃からクラスには女子が多く、みんなで一致団結というよりは何組かの仲良しグループで固まってしまっていました。私は幅広く友達を作りたいタイプだったのですが、特に女子には「何で他のグループの子と仲良くすると？」というようなタイプの子も多いため、なかなかそうもいかないのが悩みでした。
- (A3)** 高学年になるほど学生実験やコース別授業、体育祭や高専祭などで仲良しグループの子と一緒にいる時間が減り、逆にいろいろな人と作業をしなければならなくなるので、自然と他のグループの子とも仲良くなっていました。それでもとやかく言う子はいましたが、そればかりを気にして狭い世界にいるよりは、色々な人と触れあった方が世界が広がるんだ！と吹っ切ってみたら気持ちが楽になりました。
- (A4)** 色々なことを気にしそぎないのも時には大事です。ポジティブシンキングでいるほうが、楽しい学生生活を送れると思います。また、高校生くらいの年頃の悩みといえば、多分トップに来るのは恋の悩みだと思います。恋の悩みを相談できる友達はいますか？高専時代の友達は一生の友達になると思います。今はまだ「親友」と呼べるような友達はいない、という人も多いかもしれません、色々な人と接してみると自分の事を分かってくれる友達がきっと見つかります。自分の世界を広げて「親友」を見つけると、人生に大きくプラスになると思います。今のうちですよ！


出来 恭一（でき きょういち） 学科：電気工学科
有明高専への勤続年数： $\frac{1}{3}$ 年

- (A1)** 大阪府泉佐野市です。現在関西空港がある町で、タオルの産地です。
- (A2)** (1) 特に悩みのないのんびりした生活でした。柔道部に所属し練習に明け暮れています。一年上の学年までは、大型でやたらと強く、これに反し私の学年は小型ややせっぽちの部員が多く、私もかなり痩せており、チームが弱体となってきました。如何に体重をつけ試合を有利にするかが悩みといえば悩みで、のんびりしたものでした。
 (2) しかし、ただ一ついまでも心を暗くする思い出があります。3年生の時でした。聰明で（数学の成績がとびきりよかったです）、やさしく、誰からも好かれた同学年の女子生徒が、彼女の父の病気のため大学進学をあきらめたと聞いたことです。受験のための補習授業の教室の横の廊下を、その必要がなくなった彼女が通り過ぎる足音が今でも耳に残っています。
- (A3)** (1) 帰宅後の夕食をお腹一杯食べ、その後1時間足らず寝ることにしましたが体重はほとんど増えませんでした。
 (2) 解決法など考えつきませんでした。しかし、徐々に、常に社会の弱者のサイドに立って考えたり、行動するよう心がけるようになりました。自分の仕事を通してそのような立場の人を助けることができれば素晴らしいと思っています。
- (A4)** 常に、fair（公正に）、share（他と分かち合い）、care（相手のことを考える）を心に留めて生活して下さい。

「学生相談室の一年間」



石崎 勝典
学生相談室長
共通専門

「私の高校時代」



山口 英一
一般教育科

中学からの友だちと一緒にバレー部に入りましたが、体力がなく厳しい練習についていけませんでした。でもどうしても部活を辞めなくなつたので、一年生の後半でプレーヤーとしては諦めてマネージャーの仕事をしました。

他の部員たちの練習の役に立ちたくて、プロックの練習ばかりを真剣にやりました。それと練習試合で審判をすることが多かつたので審判講習を受けたこともあります。自分ができないからと失望するのではなく、できることを見つけるように言つてくれた顧問の先生に感謝しています。

今も球技大会で学生諸君と一緒に楽しめるのは、高校時代にレベルは低くともバレーボールを触り続けたおかげです。

一年間に受け付けた相談内容は、修学上の問題・進路の問題・対人関係の問題が例年どおり多かつたようです。しかし、修学上の問題の相談数は、昨年までと比べ減少しています。考えられることは、オフィス・タイム（授業担当の先生が、学生が質問できるようにあけてある時間）などがよく活用されているからと思われます。本年も相談室に気軽に立ち寄ってください。

「再会」



森 紳太朗
電子情報工学科

最近、インターネット上で大学時代の先輩方三人と再会しました。それぞれ自分のサイトをお持ちなのですが、本業ではプロのイラストレーターやグラフィックデザイナーをされています。さらにアーティスターをされている先輩の消息も分かりました。

年賀状のやりとりも途絶えた方とこういう形で再会できることにネットワーク社会を実感しました。



嘉藤 直子
電子情報工学科
(山崎)

こんにちは。学生相談員になつて今年で三年目になりました。

私事ですが、今年六月に同じ学科の嘉藤先生と結婚したので、名字が山崎から嘉藤へ変わりました。これからは直子先生と呼んでくださいね。これまで同様に山崎先生と呼ばれても返事をしますので、気兼ねなく声をかけてください。今年もよろしくお願いします。

「話の花を咲かせて！」

野中 妙子
保健室

初めて白くやがて青紫色に変化する。梅雨の頃、雨にぬれそぼつた大きな花は、その

紫色がひときわ美しい紫陽花が好きです。

五年目を迎える学生相談室も、色とりどり七人の相談員がそろっています。好みの色の先生と一緒に、私は今年は絵手紙に挑戦いたします。絵手紙に詳しい人は是非一報下さい。

「近況」



森田 理香
カウンセラー

数年前から軟式野球を始めました。といつても、練習も含めて活動は年に何回しかないので…。人には意外と言われるし、自分でも意外です。新しい世界が広がったように思います。新しい自分や新しい世界を知ることは、ちょっとびり怖い時もあるけれどとても面白いものですね。皆さんの世界も教えて下さい！



水谷えりか
カウンセラー
(精神科医師)

こんにちは。毎日暑いですね。

私は月に一回、熊本市内から来ています。今年で三年目になりますが、ようやく道に迷わず来れる自信がつきました。そんな方向音痴の私ですが、皆さんのが悩み事で道に迷ったときには少しでも助けになればと思っています。

今年もよろしくお願ひいたします。

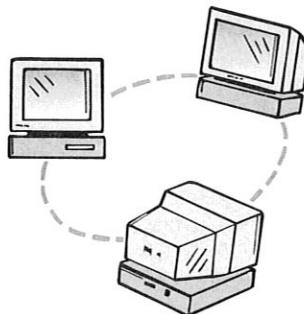


より充実した学生生活のために

◆ Eメール相談

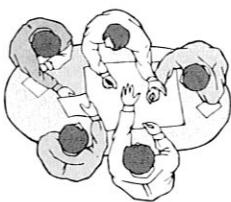
相談室に行くのはちょっと、という人、顔を合わせるのがなんとなくイヤだ、という人、簡単な相談事のある人、下記宛にメールを送ってください。差出人（ユーザ名）を忘れないように。

(soudan@ariake-nct.ac.jp)



♥グループ面談(学習)

2、3人の時は、個人面談の場合と同じでいいのですが、4人以上の場合は部屋の準備も必要ですから必ず予約して下さい。相談室で計画することもあります。



♥個人面談(学習)

相談したい相談員の先生の在室時間を確認して直接、各研究室または相談室を訪ねましょう。予約する余裕があるときは、できるだけ予約するようにしましょう。



◆ 電 話 相 談

相談室に行く時間がない、顔を合わせないで相談したい、急に相談したい事がでてきた、という人、下記の電話番号にお電話下さい。

学生相談室直通電話 (FAX可)
☎ 0944-53-8657

FAXによる相談
も受け付け
ます。



◆ 手 紙 相 談

手紙で相談したいと思つたら、下記宛に
お便りください。

できるだけ敏速に返信
のお便りをさしあげます。

返信用の宛名、(住所、氏名、郵便番号)を忘
れないように。相談相手を特定されるときは、そ
の先生のお名前を必ず明記しておいてください。

郵便番号 836-8585
大牟田市東萩尾町150
有明工業高等専門学校 学生相談室



豆知識

嵩(かさ)の話

 醤油や酒の容器として今も使われている一升瓶。升(しょう)は昔の容積の単位で約1.8リットル(l)。その10分の1が一合で180cc。さらに10分の1が一勺(いっしゃく)、逆に十升で一斗(いと)。灯油やペンキの入った直方体の18lのブリキ缶がこれ。十斗で一石(いっこく)180l。一般的なドラム缶は200l。江戸時代の福岡藩は五十二万石。つまり黒田の殿様は年間に玄米五十二万石を収穫できる領地の主だったということ。これら単位の使用は計量法施行法により昭和33(1958)年12月31日までとされた。



相談室の場所は何処…?

開室時間は

三時から五時まで在室されま
すので、遠慮なく相談に行つ
て下さい。

気軽に訪ねて
ください!!



編集後記

「微笑み」九号では、今までと違う企画で構成をおこなつてみました。いかがでしたでしょうか。他によいアイデアがありましたら教えてください。

また、表紙の中央の写真は、三池山の中腹にある天台宗普光寺の臥龍梅です。県指定天然記念物で樹齢約四百年といわれ、全長二十二メートルあります。

「臥龍梅」の名の由来は、枝振りが、地をはう龍のような形をしていることからきています。高専在学中に、一度は出かけてみてはいかがですか。

■**嘉藤直子(旧姓:山崎)研究室**
一般教育科 北棟二階
電話 0944-5318726

■**森研究室**
電子情報工学科 棟三階
電話 0944-5318651

■**山口研究室**
修己館一階保健室隣り
(一般教育棟二階L字教室斜め前)
電話 0944-5318657

■**石崎研究室**
修己館一階保健室隣り
電話 0944-5318625

有明工業高等専門学校
学生相談室便り
『微笑み』第九号

発行日 平成十五年七月十五日
発行 有明工業高等専門学校
大牟田市東萩尾町一五〇
学生相談室
郵便番号 836-8585
電話番号 0944-5318657
○九九四一五三一八六五七